

「何ジロジロ見てんの？」

「オッサン私服警官？」

「PP活う…？」

「あゝ、そっちなね…」

「アタシ結構高いよ？」

「とりま前金で
3万で〜」

「んで本番なしの
ズリ抜きで7万
つてとこかな〜」

「でもオッサンみたいにな
冴えないリーマンに
払えんの？笑」

むっ♡

♡♡♡♡♡

♡♡♡♡♡

お金大好きPP活黒ギャル

くろがね
「黒銀 レイラ」

『ooooo』

「あwごつめらん
悪気があった訳じゃ
ないんだw」

「そんな顔
しないでよw」

『ooooo』

「三倍出すから
ゴムあり本番でどうだ？」

「オッサン富豪かよ！」
「シケたスーツ来てるから
貧乏サラリーマンかと思
ったわ!!」

「三倍出せんのか!?!」

「ほら早く行こっ!」

「途中でゴム買って〜♥
「あ、ホテルは駅前の
グランドホテルね〜♥」

「あアタシさ〜♥
最近金欠で欲しいバッグ
買えてないんだよね〜♥」

「エ○メスのバッグ
なんだけどお〜♥」

「もし買ってくれたら
アタシいっっぱいサービス
しちゃうなあ〜♥」

「レイちゃん…
わかったから…」

「アタシがもう限界なの…」

!

ミチ…

ミチ…

ミチ…

「おっけい♥じゃあ
ホテルいこっか♥」

「その様子じゃあお店の中に
入れないからね〜♥」

NO
NO
NO

ふっ…もう勃ってんのかよ…w

むち♥

「現役OKのムチムチボディで
気持ち良くしてあげるから
早々にへタレないでよ〜♥♥」



っいや〜おじさんってのは
相変わらずチョロいね〜w

ちよ〜と胸使って
アピればすぐにチンコ
おっ勃ってオチるんだからw

♪

♪
お金もバッグもゲットで
人生イージーモードだね〜♥
このままアタシのテクでチンコも財布も
骨抜きにしてやろ〜と♥

良いカモゲット〜♥



「ッおっさんマジ
やばいッッ♥」おッ♥飛ばし過ぎ♥

「あたしもうイってる
ッてばあああッ♥♥」

「うるせえッ、金ッで簡単に
股開くバカマンユがッ」

「喋ってないでマンユ締めろッ
オラ射精すぞッ!」



「フ……ッ♡
何発射精しても一発目
くらいの量出るわ♡
マジで神マンコ♡♡♡」

「ん？金玉枕にして
寝てんのか？w」

「ちんぽ様をほったらかす
無礼な雌にはしっかり
ワカラせないと♡」

「なあレイラ♡♡」



「この金に目がない
メスガキのじめるのが
雄の特権だよなあ」

「あつちこ」
「あつちこ」
「あつちこ」

「オラ止まんな
そのデックを尻動かして
気持ち良くさせろ」



「21」

「22」



「あ、オチやがったw
27回か、あと少し
だったのになあレイラ」



「んっ♡♡♡でっ♡♡♡いつかい
休ませてえ♡あッ♡♡♡」

「頑張れよレイラ
30回いかねーと
バック買ってやらねえぞ
欲しいんだろ?w」

「ッほしいっ♡けどお...おっ♡
もっ...ッ限界なのっ♡♡♡」

「金搾り取る気満々だったろw
ほら頑張れ頑張れ」

「それはっ...謝るからっ♡
謝るからああああ♡♡♡」

「あつちこ」
「あつちこ」
「あつちこ」



「甲斐性のねえへタレマシクだが
チャンスはまだあるぞ♡♡♡」

「オラア起きろ!!
こっちは二倍払ってんだ!!」



「うっ、射精るっ
射精すぞお!」

「よおしいぞお
上手に精子昇らせた
ご褒美にまた射精
してやるからなあ♥」



「よし大分ほぐれたな
ホカホカまんこに♡」

「ははっPP活してるくせに
綺麗なピンク色だな♡
黒ギヤルらしくこちも
ドス黒くしてやる」



はあ♡

はあ♡

「全く、根元まで唾えられないのか」
「こんなフェラテクでイケる連中は可哀想だな」

んん...♡

んぼっ...♡

んふっ...♡

「無作法なロマンコに代わって下の口にお仕置きだ♡♡」



「なんだ今のでイッたのかw」
「今日二日で簡単にイクようになったなあ」

「オラ休んでる暇ないぞなにせ三倍払ってるからな♡」

はあっ...♡
はひゅっ...♡

クッ...♡
クッ...♡

「おい、起きなさいともしやお仕置きしちまうぞ♡♡」





「あああああああああッ♡
イッてるのッ♡おッ♡
イッてるッばあああッあ♡
「おおッ♡止ま



「この美味そりな乳首も
可愛がってやる♡」

「あッ♡
やめッ♡」

「おほっ、デカ乳首は
吸いごたえあるな♡」

「あひッ♡もッ♡
すっ、吸うなあ♡」

「あッ♡
あッ♡
あッ♡

「あッ♡
あッ♡

「あッ♡
あッ♡

「あッ♡
あッ♡

「あッ♡
あッ♡

「うおおおキタッ♥
精液上がってきたぞッ♥」

「一番奥で思いつきり
射精してやるからなッ♥」

「膣内はッ♥
ヤバいッてえ♥」

「うんぬん金なら
いくらでも払ってやる！
さっきの五倍だッ♥」

「バッグも欲しいのか!?
なんでも買ってやるぞ!♥」

「やっ♥やめてえ♥」

「射精るッ♥」
「射精るぞおおおッ!!!」

ズボッ

ズボッ

ズボッ

ズボッ

ズボッ

ズボッ





「うわ、せっかく出した
ザーメン溢すなよ
もったいねえなw」

「フーッ...♡ちっぽ
中出し最っ高だなあ♡」

「また子宮に入れ直さ
ないとなあ♡」
「まだまだこれから
だぞレイラ♡♡」

レイラはその後もひたすら
ハメられ続けた――

実に五時間……

ゴムありゴムなし交尾
合わせて20回以上……

徹底的にちんぽの味を
叩きこまれた

金にモノを言わせて
止まらぬピストンに為す術なく
強い雄の性欲が
満たされるまで――



「ほらレイラ
写真撮るぞ♥」

「はい、チーズ」

「何発射精したかな。。。
流石に少し疲れたが」

「っいや、久しぶりに
カッスルしたわ♥」

「自分からちんぽねだるような
タダマン雌便所にしてやつからな♥」

「楽しみにしてけよ、レイラ♥」



